

令和5年12月12日 国立大学図書館協会シンポジウム
「オープンサイエンス時代の大学図書館員像：これからの<人材>構築にむけて」

「キダハミから見えたもの」

国立大学図書館協会近畿地区協会 地区助成事業
「きみも大学図書館ではたらいてみないか」実行委員会
伊原 尚子（京都大学附属図書館）

きみも
大学図書館で
働いてみないか

「キダハミ」とは？

#キダハミ

- 国立大学図書館協会近畿地区協会 地区助成事業「きみも大学図書館で働いてみないか」
実行委員会 通称「キダハミ」
 - ・ 2022年10月～ 現在活動継続中
- 京都大学・大阪大学・神戸大学・大阪教育大学・兵庫教育大学の5大学の図書館職員が
集結
- 「大学図書館が求める職員像」を知ってもらうための情報発信を実施中

キダハミ発足の背景 1

#キダハミ

➤それは危機感から！

① 図書系採用試験の志願者の減少

② 大学図書館に求められる仕事の多様化

➤職務にマッチした素養を備えた人材の確保が出来ているのか？

➤そもそも素養って何？

キダハミ発足の背景 2

#キダハミ

➤我々は必要とする人材像を、求職者に届けられているのか？

現状分析に基づいた人材獲得戦略の検討が必要

……もちろん実施も

➤キダハミの「やること」と「目指す」もの

- ① 職業としての「大学図書館員」について周知
- ② これまで図書系職を受験しに來なかつた層への認知度向上
- ③ 同職への就職希望者数増加

予備調査



#キアハミ

➤活動戦略検討およびメンバー間の意識共有を
目的として、予備調査を実施

・2022年10月～11月に実施

- ① 大学図書館での待遇や将来性，身につくスキル
- ② 求める人材の素養（知識，経験，モチベーション等）
- ③ 就活市場の調査・学生動向調査
- ④ 民間企業・公務員の現況

予備調査結果（素養1）



#キアハミ

➤ 司書課程の教育を調べてみた

- ① 教科書に記載されている内容
 - ② シラバス（近畿大学・京都大学）
- ・ 大学図書館の業務がカバーしきれていない
 - ・ 特に研究支援への対応が薄い
 - ・ 司書課程は主に公共図書館が対象

(参考) 大学図書館業務とJLAのテキスト『図書館概論』の記載

キダハミ独自調べ 記載の有無は、大きくとりあげられているものが◎

大分類	小分類	具体例	教科書記載有無
事務スキル	庶務・会計・人事		
	会議運営	教員との連絡、会議の司会、資料作成	
経営戦略	大学の目標、中期計画		○
	外部資金獲得	ネーミングライツ、寄付金	
	大学の研究活動分析	InCiteなどを使った分析	
広報/デザイン	ウェブサイト作成 広報物作成		
図書館情報学	目録法・分類法		◎
	著作権法	複製権に関すること、CCライセンス	◎
	収書	選書	◎
	ネットワーク情報資源	EJ/DB	○
	デジタルアーカイブ	デジタルアーカイブ	◎
サービス対応	接客		
教育支援	情報検索支援	図書館ガイダンス	◎
	ライティング支援	ライティングセミナー	
	授業運営の支援	エンベデッドライブラリアン	
	学問分野に関する主題専門知識		
研究支援	論文のオープンアクセス	リポジトリ 転換契約	○
	研究データ管理		
	情報検索支援	図書館ガイダンス	○
	学問分野に関する主題専門知識	サブジェクトライブラリアン	
情報システム	システムエンジニア	LMS、サーバー管理、ネットワーク管理、端末の管理	○
その他	社会貢献	学外者へのサービス、寄付依頼、高大接続	○
	障害者対応		
	学生協働		
	場の提供	コミュニティ・デザイン、ラーニングcommons	○

予備調査結果（素養2）



#1911

➤ 専門試験の出題傾向を調べてみた

- [2004-2009]は、図書館情報学で学ぶ内容が多く出題
- [2016-2021]は、学術情報や教育研究支援に関する内容が多く出題

(参考) 採用試験図書系専門試験の出題傾向のまとめ

試験問題経年変化のまとめ				(1) [大庭ら(2022)表5をもとに作成]			
	2004-2009	2010-2015	2016-2021		2004-2009	2010-2015	2016-2021
図書館学概論	17.80%	25.00%	27.20%	資料利用論	8.60%	8.30%	13.60%
世界の図書館史	1.80%	4.20%	3.90%	資料提供(閲覧、貸出)サービス	0.00%	0.80%	0.00%
日本の図書館史	1.20%	1.70%	3.90%	情報サービス、レファレンスサービス	4.30%	3.30%	1.00%
図書館の種類と概要	3.10%	0.80%	1.00%	図書館利用教育、情報リテラシー教育	2.50%	3.30%	7.8% ②
著作権法、公貸権	5.5% ⑤	6.7% ②	4.9% ④	障がい者サービス	0.60%	0.80%	3.90%
日本の学術情報政策	1.80%	5.00%	7.8% ②	図書館相互貸借(ILL)	1.20%	0.00%	1.00%
図書館情報学の関連機関	1.20%	0.80%	1.00%	図書館管理論	9.80%	9.20%	6.80%
図書館情報学の法則	0.60%	1.70%	0.00%	図書館協力	1.20%	0.80%	1.00%
図書館学関連の用語、領域	2.50%	4.20%	4.9% ④	図書館サービス・蔵書の評価	3.10%	4.20%	3.90%
図書館資料論	25.20%	27.50%	33.00%	図書館建築・設備	1.80%	1.70%	1.90%
資料保存	1.20%	0.80%	1.90%	国立情報学研究所の提供サービス	4.90%	2.50%	0.00%
情報源のデジタル化	0.60%	0.00%	0.00%	情報管理論	12.30%	10.80%	6.80%
洋装本の部位の名称	1.20%	0.80%	1.00%	図書館におけるネットワークの利用	0.60%	0.00%	0.00%
和古書に関する用語	0.60%	3.30%	1.90%	電子図書館	2.50%	0.00%	0.00%
電子メディア	1.80%	2.50%	2.90%	インターネットの基礎技術	2.50%	1.70%	2.90%
その他の図書館資料	1.80%	1.70%	1.90%	情報検索	9.2% ②	5.8% ⑤	3.90%
レファレンス情報源、データベース	9.2% ②	5.8% ⑤	3.90%	データ構造、アルゴリズム	1.80%	3.30%	0.00%
学術情報の流通と各種資料	5.5% ⑤	7.5% ①	14.6% ①				
出版流通	1.20%	1.70%	0.00%				
資料選択と購入	1.20%	3.30%	4.9% ④				
蔵書の点検と廃棄	0.60%	0.00%	0.00%				
資料組織論	26.40%	19.20%	12.60%				
書誌コントロール	3.10%	3.30%	2.90%				
メタデータ	0.60%	0.80%	1.00%				
目録法	11.7% ①	6.7% ②	3.90%				
分類法	8.0% ④	6.7% ②	4.9% ④				
件名標目表とシソーラス	1.80%	1.70%	0.00%				
抄録・索引作成	1.20%	0.00%	0.00%				

<備考>

※各期間中の頻出項目5位以上を赤系ハイライト(出題率5%以上のみ)

※前の期間から5%以上増加した分野→赤字、減少→青字

予備調査結果（素養3）



#キダハミ

➤採用面接をする人に聞いてみた

- ・キダハミに参画する管理職（7名）へのアンケート
- ・2022年11月7日～2022年11月10日
- ・適応性などの態度的能力が重要
- ・司書資格は重要視されていない

予備調査結果（学生動向）



- 公務員を志望する学生は2割強（21.2%）
- 理系の内定取得ピークは、3～5月
- 理系学生のインターンシップ参加率は約7割

マイナビ 2021年卒 大学生公務員イメージ調査 https://www.mynavi.jp/news/2020/03/post_22681.html

就職みらい研究所調査 https://shushokumirai.recruit.co.jp/research_article_topics/20190628001/

「2023年卒大学生業界イメージ調査」 https://career-research.mynavi.jp/reserch/20220516_28169/

2022年11月調査時

人材獲得戦略



#キタハシ

- 大学図書館を志望する動機を生じさせるためにどうすればよいか？
- まずは、職業としての「大学図書館員」について知ってもらうこと！
- 私たちが何者なのかを情報発信しよう！

人材獲得戦略の実施



➤ 展示イベントの実施

➤ トークイベントの実施

➤ Webページ開設・双方向SNS

100人の図書館員展（展示）

#

➤ 国立大学の図書館職員から募集したプロフィール
118名分をトレーディングカード風にデザインし、
3大学同時で展示

・ 2023年2月1日～2023年2月14日

➤ 「大学図書館で働く推しポイント」
「私の考える2050年の大学図書館」

➤ カードのアバターにAIによる画像生成ツール
” Stable Diffusion Online ” を使用

100人の図書館員展（展示）

#

カードの見方

大学図書館職員としての経験年数
ニックネーム
大学（大学院）時代の専攻

カードの色

- 大学(大学院)時代の専攻が文系
- 大学(大学院)時代の専攻が理工系

りす Lv24

なぜ大学図書館員になったのか
図書館員を通して学生の先生との学習・研究を支援したい。学びの場を創りたいのが最大の目的。

得意な「好きな」仕事
読書・受入の仕事、書籍コーナーや閲覧室で利用者のみなさまの仕事を、チームとして実行する仕事に携われるのが、得意な仕事になります。

苦手な「嫌いな」仕事
システム構築に関わる仕事は未経験で苦手な場があります。

大学図書館で働くポイント
資料の提供などを通して、国内外の様々な分野の学生・先生や地域民の読書活動に貢献したいと考えています。国内地域と世界の架橋にも積極的に貢献でき、自分自身も成長できる機会があること。

私が考える2050年の大学図書館
大学での学習や研究に欠かせない資料提供の場であり、利用者の交流の場。

© 2023 kidahami no.001

文系等

- 図書館情報学
- 法学・政治学
- 文学・教育学 (人文・人間科学)
- 経済・経営・商学
- 芸術学
- その他 (神学・社会学・国際系等)

大学図書館関連資格

- 司** 図書館司書資格
- IPA** IPA情報処理技術者試験
- H** ヘルスサイエンス情報専門員
- 能** 大学図書館業務実務能力認定試験

学位・採用ルート・転職の有無

学位アイコン

- 学 学士
- 修 修士
- 博 博士
- 他 その他

採用ルートアイコン

- 行 国家公務員・国立大学法人等職員採用試験(行政・事務)
- 図 同左(図書館学)
- 技 同左(技術系)
- 強 大学独自採用

転職アイコン

- 転 転職や以前のキャリアがある場合

理工系等

- 理学(数学・化学・物理学)
- 農学・生物学
- 工学(電気・機械・建築・情報工学)
- 医学・歯学・保健学(生命科学)

100人の図書館員展（展示）

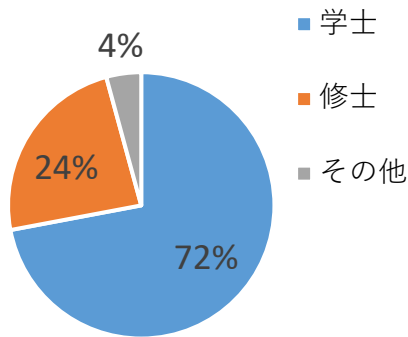
#100人展



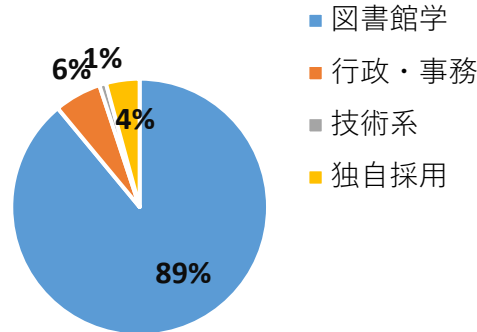
100人はどんな人？



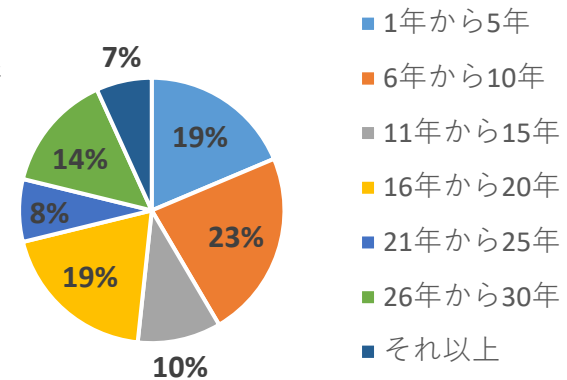
学歴



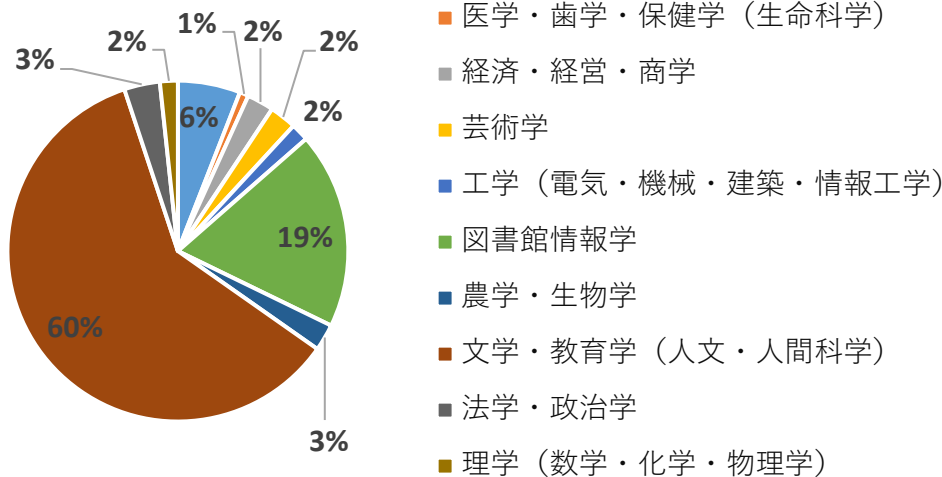
採用ルート



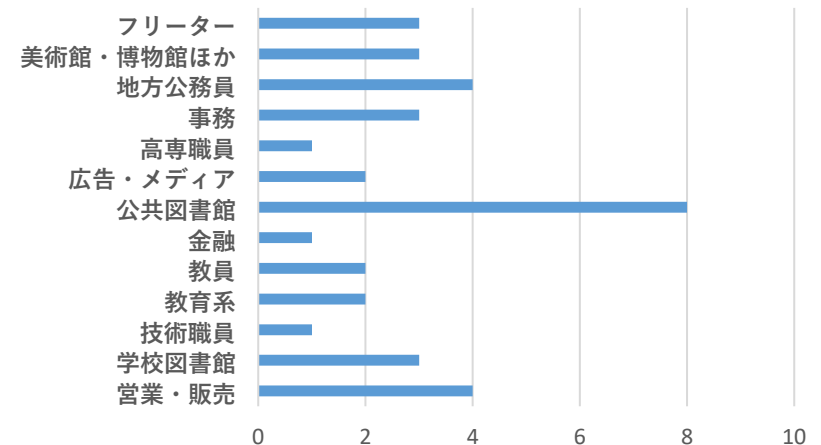
図書館職員経験



学生時代の専攻



転職経験者の前職



トシヨカンインの時間 (トークイベント)

#キヨハミ

➤ 現役の大学図書館職員が、仕事についての魅力を語る

・ 2022年2月10日 大阪大学総合図書館にて開催

① 「エグゼクティブの時間」

職員に求めるスキル/やりがいを感じる事

② 「ニューエイジの時間」

どんな人とどんな仕事をしたいか・仕事への心構え

➤ 会場とWebの同時開催



キダハミ公式Web+SNS



#キダハミ

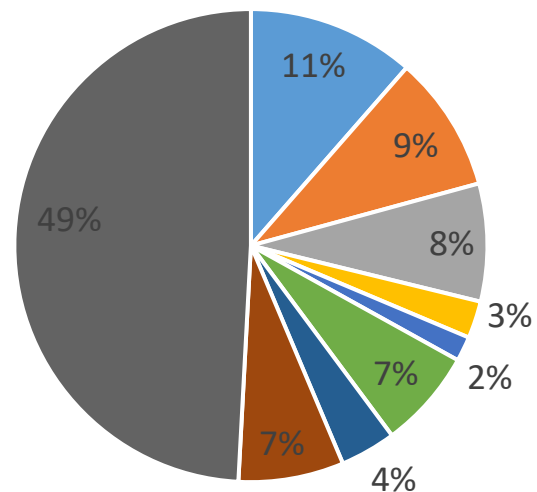
- イベント告知、Web展示、イベント動画、Q&A、X（旧Twitter）などなど
- 担当を決めて、定期的に仕事周りの情報を発信（おもにX）
- キダハミ公式サイト
<https://www.kidahami.com/>
- キダハミX（旧Twitter）
<https://twitter.com/kidahami>

キダハミ公式Web+SNS

#キダハミ

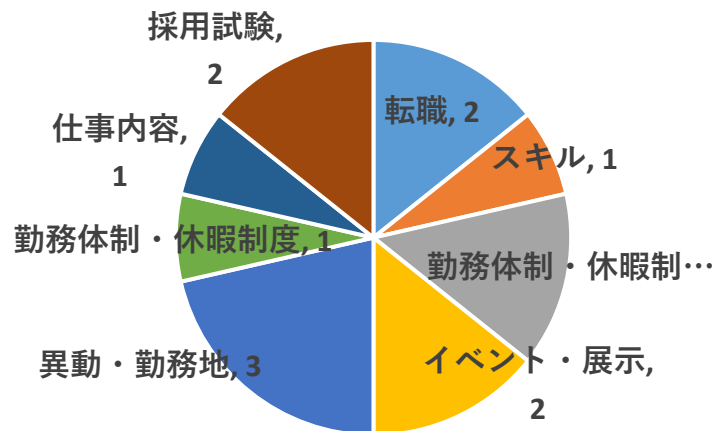
➤ フォロアーの内訳 236名

- 大学図書館（組織・職員）
- 大学職員・大学関連組織・研究者
- 司書・課程学習者
- 大学生
- 公務員・司書志望
- 図書館職員（公共ほか）
- 図書館・出版等関連企業
- 本・図書館好き
- 不明



➤ 質問者の関心事

1年間で寄せられた質問14件の内訳より



キダハミで何ができた？

#キダハミ

➤キダハミの「やること」と「目指す」もの

- ① 職業としての「大学図書館員」について周知

できた やっている

- ② これまで図書系職を受験しに来なかった層への認知度向上
- ③ 同職への就職希望者数増加



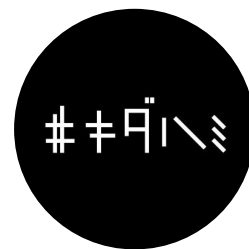
キダハミで何ができた？

#キダハミ

大学の枠を超えた若手職員～管理職が
現在と将来の

「大学図書館職員」のあり方について
問題意識を共有し、
手や頭を動かしてみたこと

キダハミから見たもの (私見)



- キダハミの限界
- 図書館職員は聖域か？
- 支援マインド
- いまこそ、考えて動くとき！



ありがとうございました

参考文献

- (1) 大庭一郎, 荒川佑蘭. 国立大学法人の図書館職員採用試験問題の分析. 2022, 図書館学, 121, 18-28.
- (2) 伊原尚子, 中山貴弘, 有馬良一, 井上敏宏, 市川鈴子. きみも大学図書館で働いてみないか
-仕事の魅力を伝え、志望者のすそ野を広げるには-. 2023, 図書館雑誌, 111(7), 397-399.